

サロンのあべの

Vol. 137

舞洲へ行こう!

サロン・あべのの10月の出合いは、「舞洲^{まいしゅう}へ行こう!」と題して、今年10月1日にオープンしたばかりの大阪市舞洲障害者スポーツセンター「アミティ舞洲」(此花区北港白津)を見学しました。ちなみに「アミティ舞洲」のネーミングは、一般公募で決定されました。アミティとは、フランス語で親睦・友好という意味の言葉だそうです。

97年10月18日(土)午後1時から、「アミティ舞洲」の職員の方の案内で、施設内を見学させていただきました。

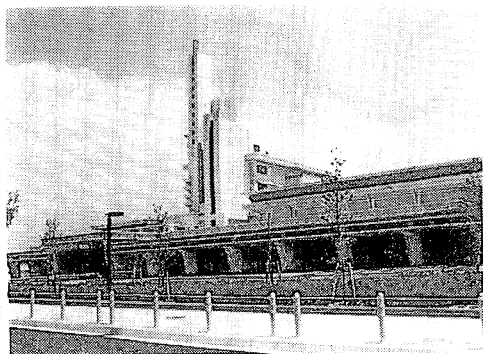
「アミティ舞洲」は、1〜2階部分のスポーツ施設と3〜6階部分の宿泊研修施設とに分けられます。まず、正面入口を入

大阪市舞洲障害者スポーツセンターアミティ舞洲《見学会》



るところは「アミティ舞洲」の2階部分です。入ってすぐ左が受付(事務室)になっています。受付の前方にはエントランスホールとロビーがあります。ロビーを進んで行くと、アリーナ観覧席(普段はランニング走路として開放されています)、プール観覧席、会議室などがあります。そのほか、この階には宿泊施設のフロントと食堂(レストラン「アミティ」)があります。

1階に降りると、最新のハイテク機器を揃えたスポーツ施設があります。もちろん視覚障害者や聴覚障害者の利用にも対応しています。アリーナ(体育館)は、バスケットボールのコートが2面分も取れる広さです。温水プールは、25mが8コースで床可動式のもの、ほかに浅型プール、高温水プールもあります。



アミテイ舞洲

す。また、家族更衣室まで用意されています。そのほか、サブアリーナ、卓球室、ボウリング室(4レーン)、プレイルーム、トレーニング室があります。そして、車椅子使用者専用の屋内駐車場もこの1階にあります。

員81名)あり、窓からの眺めもすばらしいものでした。すべて障害者の利用を考慮した構造になっています。

宿泊研修施設となっている3階には、研修室、大広間、大浴室、家族浴室があります。そして、4階から6階までが客室になっています。全部で27室(定設が06(465)8200、

宿泊フロントが06(465)8210です。

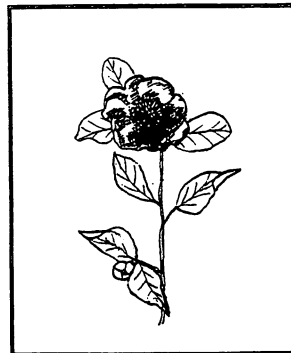
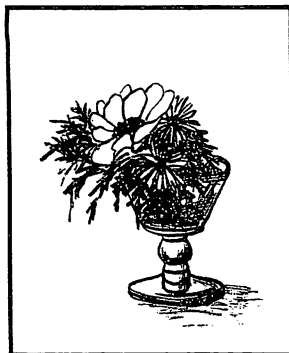
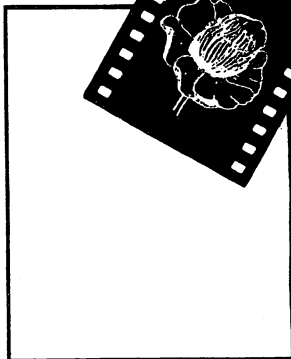
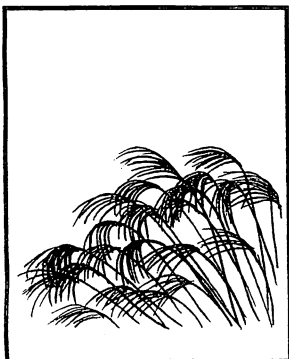
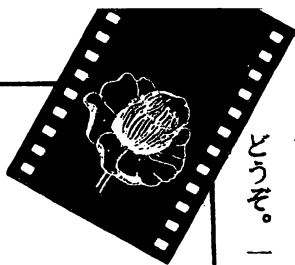
交通アクセスに少し難点がありますが、マイカー利用なら問題はありません。一度行ってみてはいかがでしょうか。また、舞洲にはこのほかにも色々なスポーツ施設があります。病み付きになるかもしれませんよ。

参加者16名。(上平幸雄)

「これはなそう！」(阿部幸恵)お休みです。

サロンの絵葉書

「花だより」と「出会いの風景」の二種類あります。ちょっとした近況、お知らせや季節の「あいさつ」などにどうぞ。一セット五枚組¥一五〇-



作る つくる 創る

河合恵子

十一月の花屋さん

十一月に入ると書店にはクリスマス特集の本や十二月号の雑誌が置かれ、文房具店にはクリスマスカードや来年のカレンダーや手帳・日記が溢れます。「そろそろ、新しい手帳を探さなくては・・・」と思う反面、「ああ、今年も残りわずかなあ」と一気に気ぜわしい気分。

そんな時、花屋さんの店先をのぞくとシクラメン・ジャコバサボテン・ポインセチアといった白や赤やピンクの花々が目に鮮やかに飛び込んできます。特に赤は寒い冬、囲炉裏や暖炉の火と共に心を暖めてくれる色。クリスマスローズやヒイラギの実、そしてモミの木。クリスマスには赤と緑の色がよく

使われます。まだちょっとクリスマスには早いかかと、紫と黄と白のパンジーを求めて、落葉ばかりが積もった少し寂し気なベランダのプランターに植えたのですが、その時ついでにと買っ



たのがゴールドデンドレウクレスト。緑色の小さな鉢植えですが、結構成長が早く、貝塚伊吹のように大きくなるとのこと。雑誌をめくっていたら、この木に赤い羽根やリボン、ミニ松かさやスプレー

バラ、ヒオウギやセンダンの実を飾ってクリスマスツリーに仕上げたものと出会いました。植木にちよっと手を加えてツリーにするのは素敵。モミの木よりも浅いグリーンなのでパステルカラーの薔薇を合わせても似合いそう。

また、少し前、東急ハンズのフロアのミニフェアで小さなリースの造り方を習ったのですが、これは簡単。市販の小さなリース(木の枝を丸くまとめた直径十センチくらいのもの)に小さな花や実のドライフラワーを木工用の糊でただ付けるだけ。枝の間に茎を少し入れると安定します。

年末の慌ただしい時期ですが、戸外の彩りに乏しい季節に向けて、手作りの花飾りを室内に置かれてはいかがでしょうか？

★床をなめる人

いつもの時間に電車に乗っていると、一風、変わった感じの背の高い青年が大股に歩きながら車内に入ってくる。何か独りごとを言っていて、しばらくは落ち着かない。そして、足元をみめていたかと思うと、さっと、しゃがんで床の一部をツメで、いじり始めた。何をしているのだろうかと見ていると、彼は、ツメの先を少しだけ口のなかに入れた。

私は驚いて、他の客と同じように、目をそらせた。目を伏せた人々に囲まれて、彼は、ぴよんと勢いよく立ち上がると、背のびをし、首を大きく動かして車内をゆっくりとながめ、そして、役目を終えたかのように深いため息をつき、また独り言で何かつぶやいた。

奇妙な行動だった。しかし、なにかわけがあるのだろうか。動きだす電車のなかで、私は、彼の理由に思いをめぐらしていた。

たとえば、もしも、私たちに、とつぜん頭のなかから呼びかける声が聞こえてきたらどうだろう。「私は神だ、よく聴きなさい」という声が聞こえて



きたら。

私たちの脳は、科学でもわからないことだらけだ。いきなり、そんな声を聞くようになって不思議なことにはな

い。自分が異常になったと疑うかもしれないが、神の声を直接聞いた人は歴史上に何人もいるし、そのなかには偉人と呼ばれる人もいる。はっきりと自分の感覚で確かめられるのなら、それをどうして異常であると思うことができるだろう。

電車に乗り込むと、神は、とつぜん、語りかける。「電車の床についてのガムの残りかすをツメで削り、あなたの口に入れなさい。そうすれば、この電車は事故からまぬがれる」。

私だったら、こう答えるだろう。「いえ、そんなことはできません。多くの人の靴で踏まれたガムの残りかすは、口に入れるには汚すぎます。また、周囲の人に私の行いは異様なものと映るでしょう。私は、誰からも理解されな

いでしよう」。

しかし、神は続けていう。「愚かなことだと思うのか。限られた人間の知

恵で、私の命じることの意味は理解できない。迷わず命じられたことをしなさい。それが、おまえを救い、他の乗客を救う唯一の選択だ」。

私に、そんな勇気があるだろうか。人に理解されず、感謝もされず、かえ

って蔑(さげす)みの目でさえ見られることを覚悟して、人々と自分の安全のために、そうすることができるだけだろうか。

私の前で床をなめた青年は、なぜ、そうしたのか。彼に問わなかった私に

はわからない。私には彼の行いは不可解なものだが、彼は私たちの安らぎのために、人から理解されないことを行っているのかもしれない。その可能性は、誰にも否定できないのだ。(知)

美智子のこんな話

岸田 美智子

介護保険対象外の障害者はどうなるの

高齢化社会を支える大きな柱として考えられている介護保険法は、もう間もなく施行されようとしています。今後、介護問題は社会の中で、大きな位置を占めていく問題だと思われれますが、その担い手としてい

ろいろな企業がサービス業として取り組んでいこうとしています。

たとえば、現在コンビニをやってきたある企業は、その24時間のシフトのシステムを使って、グループホームを町の中にコンビニのお店の間隔で作っていこうとする計画があり、この企業への問い合わせが相次いでいるそうですし、全国の農協や生協も介護サービスに乗り出していく計画が進められているそうです。今後は、施設の中だけでなく、この社会の中にいろいろな介護サービスが作られ、その質が問われてくることでしょう。

このような社会を支える財政的な基盤として、介護保険法が期待されています。介護問題を全ての人の問題として捉えていく考え方として、とても良い方法だろうと思えます。

介護保険制度は、40歳以上の国民から介護保険料を徴収し、65歳以上の障害者を含む全ての要介護者を対象として、介護給付を行う制度です。この介護保険法には、私達のような生まれつきの障害者や、若年の障害者は対象外となっています。

厚生省は、障害者の介護問題は全く別建てで考えていくと言っているようですが、その形としては、ホームヘルパー増員や地域での介護料制度での充実等を打出してきていますが、その財政的な確保については、何ら具体的な考え方が示されていません。

このような厚生省の消極的な姿勢には大へん不安を感じます。介護を必要とする全ての障害者に、いつでもどこでも水道や電気のようなライフラインとして介護を利用できるように、私達もいろいろな力を合せて行動していきたいものです。

ションの方法についてスタッフとシンポジウムを開くことになっています。これはさらに余分の仕事をたくさんしなければならないのですが創立記念日としての最後の行事になります。

多分、まもなくアンドレアスベルクを去ることになるでしょう。なぜなら、私とボーイフレンドが今年の終り頃、他の仕事を

得ることになりそうなのです。しかし、決定はまだはっきりしていません。詳細がわかれば次の私の手紙でそのことについてもっと詳しく書くことになるでしょう。

あなたとあなたのグループの人たちがお元気でありますように。

ブリギッテ

お知らせ

サロン・あべの12月の出会い
「スイートハートXmas」

日時=12月6日(土) 午後1時~4時
会場=育徳会館3階 「幸分ホール」

(阿倍野区阪南町5-12-5)

会費= 1,500円

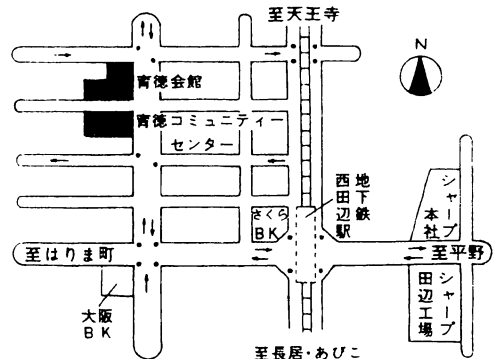
備考=軽食とお飲み物、そして、心ばかりのクリスマス・プレゼントをご用意しています。準備の都合がございますので、11月末までに必ずお申し込みください。

※また、会場の飾り付けなども手伝

っていただけないでしょうか。お手伝いしていただける方は、少し早めの12時にお集まりください。

お申し込み・お問い合わせ先

☎06-691-1028 (富田慶子)



~~~~~朗読テープのご案内~~~~~  
 朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、  
 ▲サロン・あべのV紙一三六号の録音テープが出来ました。

五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本に  
 ▲サロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」は、九〇分テープ二本と一二〇分テープにそれぞれ収録されています。  
 又、絵本「未知の記憶」(作・絵||中川勝彦)、「ラジオたんば」(三〇分)放送の『▲サロン・あべのV平成七年五月の出会い』、エッセー集「逃げたクヨナク」ポラントイア活動の周辺」(岡本栄一著・表谷恵美子音訳)もあります。

本紙のバックナンバーが表谷恵美子さんのご協力で一号からそろいました。

いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

(☎〇六九一〇二二八)

ドイツからのお手紙

St. Andreasberg, Sept. 20th 1997

Dear Keiko!

Thank you very much for your last detailed letter and the photos. I am very interested in Japanese customs. Your wedding ceremony is very strange for me, but with the photos I can imagine it a little bit. I think there's a great difference between your wedding and the one of your daughter.

Today in Germany 30 to 50% of marriages will be divorced later, especially in the great cities the rate is very high. Are there so many divorces in Japan, too? Or is there a religious prohibition for getting a divorce? According to Catholic religion people are not allowed for getting a divorce, but the influence of religion isn't great, as you can see.

In Germany many people are interested in Asian culture and try to take over some customs, for instance techniques of the Chinese way of medicine like THAI CHI or AKUPUNKTUR. These ways of medicine are very popular here, especially for people with chronic diseases. Often for these people our high-tech medicine doesn't find any way to decrease their pains and so they look for other techniques, sometimes with good effects. Which ways of medical treatment do you prefer? Must you take medicaments daily? Do you try alternative ways to stabilize your wellness?

After my holidays in America in May I will get only a few other vacations in this year, so I have to work during the summer. In Germany the summer was very hot, but in the mountains of St. Andreasberg it's always a little bit colder. I like these temperatures when I must working. In my last letter I am telling you about our clinic's birthday and the Open Day. Additionally to this 100-year-celebration in October we'll organize a SYMPOSIUM for medical staff about our way of rehabilitation, we offer to our patients. This is a lot of additional working, but this is the last action for the birthday.

Perhaps I must leave St. Andreasberg soon, because my boyfriend will get another job at the end of this year. Then we'll go to a city 600 kilometres away: FREIBURG. But the decision isn't clear yet. I will write you more in one of my next letters, when I'll know more details.

I wish you and your group a good time

*Brigitte*

アンドレアスベルク

97年 9月20日

親愛なる慶子さんへ

あなたの詳細に書かれたお手紙と写真がありがとうございました。日本の習慣にとっても興味を感じました。あなたの結婚式は私にはとても不思議なものに見えました。けれども写真から少しは想像できました。あなたの娘さんの結婚式と比べると大へんな違いですね。

今日、ドイツでは結婚した人たちの30～

50%が離婚します。特に大都市ではその率が高いです。日本でもそんなに多くの人たちが離婚しますか。それとも離婚に到るのを宗教が禁止しているということがありますか。カトリックに従えば離婚は許されないのですが、宗教の影響は絶大ではないようです。あなたもご存知のように。

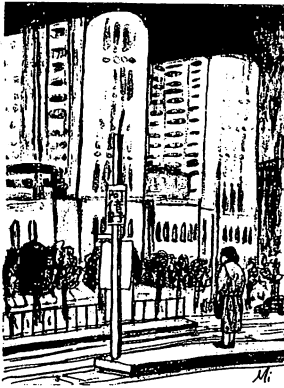
ドイツでは多くの人々がアジアの文化に興味をもっています。そしていくつかの習慣を取り込んで試みています。たとえば、鍼などの中国医学です。こちらではこれらの医学的な方法は大人気があります。特に慢性的な病気を持つ人々にとっては。しばしばこれらの人々のために我々の高い水準の医学をもってしても彼らの痛みを和らげる方法を見つけることができないときがあります。それで彼らが他の方法を探します。そして、そこでときどき良い結果を得るときがあります。あなたが好む治療はどんな方法ですか。毎日、薬をのまなければならぬのですか。あなたの健康を安定させるためにそれ以外の方法をとっていらっしゃいますか。

5月にアメリカでの休日を取った後は、今年は他のお休みはほんの少しになるでしょう。それで、夏の間は働かなければなりません。ドイツは夏は大へん暑いですがセントアンドレアスベルク山はいつもほんの少し寒いのです。働かねばならない時、私はこれぐらいの温度が好きです。この前の手紙で我々の病院の創立記念日とオープンデイについてのお話をしましたね。この100周年記念に続いて10月に私たちが治療しようとしている患者さんのリハビリテイ

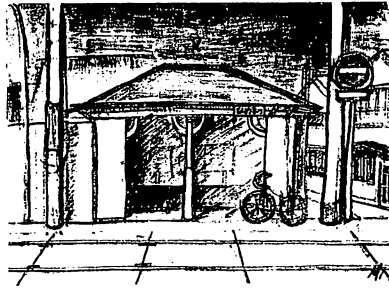
わがまち阿倍野 絵はがき散歩 ⑨

上町線のチンチン電車、ちぢめて「ちん電」が走りだしてからの歴史は古い。明治三三年に天王寺西門前と東天下茶屋の間を、馬が客車を引いて走ったのが最初というから、もうかれこれ百年にもなる。鉄道馬車

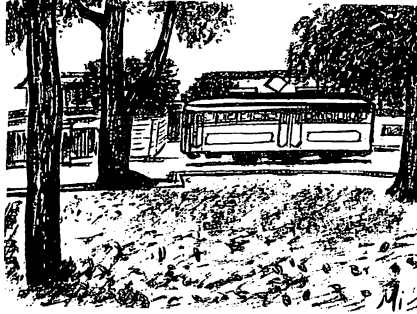
はその間、紆余曲折があつて、今の天王寺駅前が発着駅になったのは大正十年のこと。時は進み、リニアモーターカーが六〇〇キロの時速で、東京—大阪間を走ろうかというご時世になつて、広告いっぱい車体



阿倍野駅



姫松駅



清明中央公園



清明通踏切



松虫駅

に描いたド派手な「チン電」は、阿倍野の町中(まちなか)をのんびりとガタガタ・ギシギシ走る。

この「チン電」、新幹線やリニアモーターカーなどでは決して味わうことが出来ない、自家用感覚で乗り降りできる気安い出合いがあり、ふれあいがある。商店街を走り、高級住宅地を抜け、そして、家の軒すれすれに挟いところをコトコト走る自家用「チン電」の窓からは、人が、暮らしの息づかいが、ぬくもりが見えてくるようで、なんともホンワカした気分になる。

どうでもよい、余分なことですが…

阿倍野と松虫の間に「中道」という停留所がありました。いところなくなつたのか知りませんが、阿倍野警察のちよつと北寄り、中道市場の辺りにあつたのをなつかしく思い出しました。

繪畫わがまち阿倍野

- 歴史のあるまち
- チンチン電車の走るまち
- まちかどスケッチ

きりぎりす 二五回





サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」12月の出会い

日時；12月21日(日)午後1時30分～午後4時

場所；淀川区在宅サービスセンター  
「やすらぎ」

内容；「みんなでわいわい、がやがや」  
～今年も後少しになりました。  
ビンゲームで来年を占いませんか～

パネラー；サロン参加者

会費；なし

問い合わせ先；淀川区社協 絆フェア・ビューロー  
TEL06-394-2900

■「サロンつるみ」12月の出会い

日時；12月7日(日)午後1:30-4:00

場所；大阪市立鶴見会館2階  
[鶴見区横5-5-51]

内容；「クリスマス会」

パネラー；馬場尊弘氏  
(全盲の方のギター演奏と歌)

会費；500円程度のプレゼントをご  
持参ください。

問い合わせ先；TEL06-913-7070  
(鶴見区絆フェア・ビューロー・藤井・山本)

■《てくてく・すみよし》12月の出会い

日時；12月14日(日)午後1時～4時

内容；「'97 年忘れ会」  
～今年一年お疲れ様でした！？～

ゲスト；喜瀬常和氏(腹話術)

場所；大阪市立住吉解放会館  
南海高野線住吉東下車

[住吉区帝塚山5-3-21 TEL06-674-3731]

参加費；1000円

申込締切；12月7日(定員50名です)

お申込み・お問い合わせ先；

TEL06-692-8411 (山本)

■「サロンいたみ」第1回目の出会い

日時；11月29日(土)午後2時～3時30分

場所；伸幸苑 大ホール  
[伊丹市寺本6-150]

内容；「朗読とマリンバの調べ」

ゲスト；朗読=石川楊子氏  
(まどみちお謙・イツツバ舞・他)

打楽器=高木至通氏

参加費；無料

主催；すみれ会(絆フェアグループ)

連絡先；TEL0727-83-5487  
(橋本、17時以降にお願いします)

共催；伸幸苑(0727-78-6765)



感謝

カンパ、切手、カセットテープ、広告入り封筒等ご寄付・寄贈ありがとうございました。又、サロングッズのお買い上げありがとうございました。お礼申し上げます。

石原 栄(大阪義肢装具センター)、  
岡 賀寿子、土屋由美子、表谷恵美子、  
八木千尋、その他の方々。

＜サロン・あべの＞の皆さまへ

最近、日本の方々のための個人旅行をお手伝いする組織を友人たちと作りました。

どなたか周りの方でインターネットをされている方がありましたら、ぜひ、ホームページをのぞいてみてください。

また、サロンの方々でイギリス旅行をしたいという方がおられましたら、企画をお手伝いいたします。どうぞ、お気軽にご相談ください。ビジネスを離れてボランティアさせていただきます。

あいか彩子

URL

http://www3.mistral.co.uk/brightoncross  
.....

♥ Making Color ♥

色彩研究所 開所のご案内

カラーアナリストの福永享子さんがこの度、カラーセラピーの資格を取得されて、11月1日(土)にカラー研究所を開設されました。色彩があふれる現代ですが、自分

の色を見つけるのは難しいものです。色彩に興味や関心等をもたれたら、下記へお問い合わせ下さい。

記

\* カラーセラピー (予約制¥4000.)

色を使って心の疲れを癒す

\* パーソナルカラー (3ヵ月=6回 ¥25000.)

好きな色から自分色を見つける

\* アートスクール (7-セラピー-期間3回 ¥6000.)

心の疲れ、ストレス等を絵を描く中で少しずつ癒していく

\* Beauty School (6ヵ月12回 ¥50000.)

パーソナルカラー、色彩心理、

カラーセラピー、メイクアップ

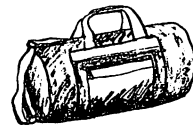
☆ 問い合わせ先

Making Color

(色彩研究所)

福永享子

TEL 06-624-2722



FROM EDITOR

編集後記

長い間、本紙の創刊号から38号までの音訳テープはありませんでした。が、このほど表谷恵美子さんのご協力で、抜けていたこの間の音訳が出来上がり、全号が揃いました。ちょうどこの時期は＜サロン・あべの＞の草創期で、本紙もあゝでもない、こうでもないといった頃だと思い出します。興味深い時と思われる方もおありかと思ひます。 (石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・＜サロン・あべの＞Vol.137[ '97.11.15.発行] 定価¥1000.

代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941

印刷；セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDELF 電話06-719-8212 06-719-8213